

津山市第5次総合計画 地区別懇談会の様子と意見要旨 ～地域から津山の未来を考える！～

日時 平成27年2月8日(日) 14:00～ 場所 河辺公民館

参加された町内会支部名 : 河辺 参加者数 31人

市長あいさつ



人口推計の説明



みなさんからは幅広いアイデアをいただきました



いろいろな年代の方から津山市の将来についてご意見をいただきました





河辺公民館での市民のみなさんからのご意見・ご提言です。

- 高齢者福祉のまちづくりを進めれば、若い人の雇用の確保や知名度アップにつながる
- コンパクトシティを目指す場合は、人口の少ない地域にも配慮し、不安をあおらないよう、方向性やプロセスを明示し、順序立てて進めてほしい
- 今まではハコモノ整備がうれしかったが、将来は人口や税収が減少することが分かったので、反省して、大きな新しい事業は遠慮し、既にある施設を維持して、今後安心して暮らせるような地道な計画をお願いしたい
- 県北圏域で一緒に観光の取り組みを
- 福祉を地域で支えていかなければならない
- 親の介護などでの早期のUターンを促進するには、40歳以上の雇用の確保が必要
- 国の農政の大きな変化による農業の行く末を先取りし、津山独自の農業政策を
- 津山に来ないと見られない歴史資源を活かした観光
- 住みやすい地域だが、子どもは減っており、危機感を持って対応しなくてはならない
- 日本一子育てしやすいまちを目指し、子育て支援を段階ごとにきめ細かく行っては
- 道路やハコモノがあっても、人口が減っては宝の持ち腐れ

など、幅広いご意見を聞かせていただきました。

また、日々の生活視点でのご提案もいただきました。

参加された皆さん、お忙しいところありがとうございました。

